

社協支部アンケート集計表

対象者	調査時期	配布・回収方法	通知数	回収数	回収率
市内社協支部	令和3年12月	郵送による発送・回収	47 通	46 通	97.8%

問1 地域や生活の困りごとについて、耳にすることはどのようなことですか。（あてはまるものすべてに○）

	回答	割合
こども、子育てに関すること	14	30%
障がいに関すること（身体・知的・精神等）	9	20%
高齢、介護に関すること（認知症・見守り等）	37	80%
人権、家庭内暴力に関すること	4	9%
健康、医療に関すること	24	52%
就労、経済的な事項に関すること	6	13%
防災、防犯、交通安全に関すること	25	54%
福祉に関する情報提供に関すること	7	15%
その他 （中国人とのトラブル、あまり耳にしたことが無い、乗り物の不便）	3	7%
無回答	3	7%

サンプル数=46

問2 あなたは日常生活の中で起こる問題に対して、どのような方法で解決するのが良いと思いますか。（1つに○）

	回答	割合
自分たちの生活に関わることから、できるだけ住民同士で協力して解決したい	9	20%
地域のことに熱心な人たちが考えてくれるので、その人たちに任せておきたい	0	0%
住民と行政の協働で解決したい	32	70%
行政に解決してもらえるように要求したい	7	15%
その他 （1と3と4をミックスさせるのが理想的だと思います。）	1	2%
無回答	0	0%

サンプル数=46

問3 あなたは、いわゆる「8050 問題※」など、一つの相談支援機関だけでは解決できない人や制度の狭間にある人を支援につなげるためには、どのような仕組みづくりが必要だと思いますか（〇は3つまで）

	回答	割合
地域コミュニティの育成と支援	14	30%
どのような相談もまるごと受け止める体制の整備	9	20%
支援を必要としている人の早期把握	27	59%
福祉に関する相談窓口の周知	23	50%
相談支援機関と地域住民、地域の関係者（民生委員や児童委員等）との連携	34	74%
多様な活動団体、ボランティア等が協働で支援する仕組み	5	11%
相談支援機関や地域福祉活動の担い手を対象とした研修会の開催	6	13%
その他 （まず当事者の方の話しを丸ごと聞くことができれば①～⑦へつなげられるとっかかりだと思います、行政が強いリーダーシップを発揮しないと解釈は無理）	3	7%
無回答	0	0%

サンプル数=46

問4 お住いの地域で、日常生活を送るうえで心配な方や、困っている方がいたら、支部としてできることは何ですか。（あてはまるものすべてに〇）

	回答	割合
見守りや声かけ	42	91%
話し相手	17	37%
日常生活上の手伝い （電球の交換、買い物、ゴミ出し、通院等）	6	13%
草取りや庭の掃除	4	9%
食事作りやおすそわけ	2	4%
学校や保育園、通所施設の送り迎え	1	2%
短時間の子どもの預かり	3	7%
災害など緊急時の手助け（安否確認、避難所への誘導など）	36	78%
その他 （近くに相当する方が居ないが、自分にできる範囲で手助けしたい。）	2	4%
特にない	2	4%
無回答	0	0%

サンプル数=46

問5 あなたは、子どもからお年寄りまで、誰もが住みやすいまちづくりを推進していくにあたり、行政や社会福祉協議会ではどのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。（〇は3つまで）

	回答	割合
福祉に対する意識の向上	12	26%
情報発信の工夫	11	24%
地域福祉活動の担い手の確保	15	33%
顔の見える関係づくり	10	22%
地域福祉活動の支援	15	33%
地域の様々な活動主体のネットワークづくり	7	15%
困りごとを抱えた人が適切な支援につながる体制づくり	25	54%
誰もが安心できる環境の充実	12	26%
地域の防災力の強化	9	20%
権利擁護の推進	1	2%
地域生活課題の複合化・複雑化への対応	4	9%
社会的孤立、制度の狭間の問題への対応	11	24%
無回答	0	0%

サンプル数=46

問6 近所での助け合いの仕組みづくりについてどう思いますか。

※例：サロン活動、見守り活動等

	回答	割合
必要であると思う	40	87%
必要かどうかわからない	6	13%
必要とは思わない	0	0%
無回答	0	0%

サンプル数=46

問7 問7で「1. 必要であると思う」と回答した方のみお答えください。

今後、仕組みづくりに参加したいと思いますか。

	回答	割合
積極的に参加したい	10	25%
声掛けがあれば参加したい	21	53%
参加したいが難しい	8	20%
参加できない	0	0%
無回答	1	3%

サンプル数=40

問8 地域福祉推進について、ご意見、要望等、ご自由にお書きください。

- ・個人情報の件があり、どこまでが適切か分からない。
- ・情報の共有を進める。声かけ、挨拶の推進（例えば、回覧板を回すとき、ポストに入れるだけでなく、声をかけて話をする。又、ゴミ捨てのとき、挨拶を交わして話をする。）
- ・時節に沿った課題について講座等を聞くことを積極的に行う社協が会員（町会）に知らせる努力をし、会員（町会）も知る努力をすることが大切です。
- ・社協や包括センターなどパンフレットでは見るが、どのような活動、支援を行っているか、市民の人がよくわかっていないと思うので、町会の理事会や会合に出てもらい、どのような活動をしているのか話を聞かせて欲しい。
- ・住民同士の相互理解、つながりが希薄にならないよう方策を打っていくようお願いします。
- ・高齢か一人暮らしの方は気にかけていたが、普段から興味を持って参加していないと中々声をかけにくい。コロナ禍で集まる機会も少ない今……。コロナの終息を願い、その先を多勢で楽しみたいです。
- ・リーダーとなる方が年々少なくなり、ボランティア活動をまじめに進めてゆく事は、共通の心がけを持つ人たちが必然。しかし現状はリーダーになった方の多方面の兼務が負担となってゆく事が問題点だと思います。又携わる方も仕事をしながらの方も今後増えるので、ひとくくりに出来ない現状を行政がどうフォローしてゆくか明確さが欲しい。
- ・見守りが必要な方の情報がほしいと思います。
- ・現在はコロナの為、多数では集まるのが厳しい状況です。様々な行事に地域の方が多数足を運んでくれるようにするための工夫が難しいです。
- ・今回のアンケート内容については、現在の意識の強さの中では解決できないことが多い。ボランティアに頼るのではなく、本質を見て、課題解決策を検討すべき。
- ・コロナ禍での地域福祉推進の取り組みでご苦労様です。今後よろしくお願いいたします。

問9 支部活動を行った感想を教えてください。

	回答	割合
良い	4	9%
おおむね良い	37	80%
あまり良くない	3	7%
悪い	0	0%
無回答	2	4%

サンプル数=46

問10 支部活動を行って具体的な効果はありましたか。

	回答	割合
あった	4	9%
おおむねあった	30	65%
あまりなかった	9	20%
なかった	0	0%
無回答	3	7%

サンプル数=46

問11 問10で「1. あった」、「2. おおむねあった」と回答した方のみお答えください。具体的にどのような効果がありましたか。(あてはまるものすべてに○)

	回答	割合
町会（自治会）加入世帯が増えた	5	15%
老人会やこども会等への参加が増えた	8	24%
町会（自治会）行事への参加者が増えた	11	32%
社協会費や募金等への理解が得られやすくなった	8	24%
助け合い等の雰囲気芽生えた	7	21%
町会（自治会）と老人会や子ども会とのつながりが強くなった	15	44%
参加者同士があいさつや立ち話をするようになった	17	50%
参加者同士が交流する機会が増えた	17	50%
その他 （とにかく早くコロナ問題が収束してほしい）	2	6%
無回答	3	9%

サンプル数=34

問12 今後、支部活動を実施する際の課題はなんですか。(あてはまるものすべてに○)

	回答	割合
参加者が増加し、場所の確保ができない	3	7%
参加者が集まらない	19	41%
担い手の確保が困難である	26	57%
若い人の参加が少ない	32	70%
地域に関心のない人が多い	22	48%
日中、留守の家が多い	11	24%
地域住民の交流の機会が少ない	17	37%
支部活動活性化事業支援費の使いみちが限られている	8	17%
支部活動活性化事業支援費の申請・報告等の手続きが多い	5	11%
その他 (会員数が高止まっている。参加はしてくれるが担い手側になる人が少ない。 参加者が同じ人で、新しい人が集まらない。)	5	11%
特になし	2	4%
無回答	1	2%

サンプル数=46

問13 今後、町会（自治会）でできる支部活動はありますか。また、どのような活動を行いたいですか。

	回答	割合
ある	7	15%
現状のままで良い	22	48%
あるが、行う事は難しい	13	28%
ない	1	2%
無回答	3	7%

サンプル数=46

(ある場合の具体的な事業)

吹矢、元気体操（3）、募金、夏祭り、町会運動会、納涼大会、役員旅行、老人会旅行、グラウンドゴルフ、健康体操、地域の困難な家庭の子供・高齢世帯対象の食事支援、代替事業を検討中

問14 問13で「3. あるが、行うことは難しい」と回答した方のみ、理由についてお答えください。

	回答	割合
場所の確保ができない	0	0%
担い手の確保ができない	10	77%
指導者がいない	6	46%
その他（参加者の確保、経済的な計画等が不明、定期的に行うことは難しい）	4	31%
無回答	3	23%

サンプル数=13

問15 今後、支部活動を実施していく上で社協に求める支援は、どのような支援ですか。（あてはまるものすべてに○）

	回答	割合
人的支援	12	26%
事業の提案	22	48%
組織体制への支援	11	24%
情報発信	18	39%
その他（社協の役割のPR、事業支援費の増額（2）、特になし、わからない）	7	15%
無回答	4	9%

サンプル数=46

問16 支部活動の担い手はどのような方ですか。（あてはまるものすべてに○）

	回答	割合
町会（自治会）役員	42	91%
老人クラブ会員	28	61%
女性部会員	13	28%
子供会会員	15	33%
民生委員・児童委員	10	22%
社協登録ボランティア	3	7%
町会外の方	0	0%
その他（女性ボランティア、老人会）	2	4%
無回答	0	0%

サンプル数=46

問17 支部活動の担い手に協力いただく際の負担はありましたか。(あてはまるものすべてに○)

	回答	割合
人集めが難しい	28	61%
理解がない	6	13%
担い手の負担が大きい	17	37%
苦労はなかった	6	13%
その他(参加はするが担い手になる人がなかなかいない)	2	4%
無回答	3	7%

サンプル数=46

問18 社協登録ボランティア(団体・個人)や、他団体との連携について、どうお考えですか。

	回答	割合
現在している	5	11%
現在はしていないが今後必要と考える	22	48%
必要ない	5	11%
無回答	14	30%

サンプル数=46

(1 現在している連携) グラウンドゴルフ、はぎの会

(2 今後必要と考える連携) 子ども食堂

(3 必要ない理由) 気を使うし煩わしい、現在の活動でとりあえず完結している

問19 広域(近隣支部)での事業の合同開催について、どうお考えですか。

	回答	割合
現在している	3	7%
現在はしていないが今後必要と考える	22	48%
必要ない	11	24%
無回答	10	22%

サンプル数=46

問20 支部活動の参加者の募集はどのように行っていますか。

	回答	割合
回覧	40	87%
ポスター	12	26%
クチコミ	21	46%
メール	1	2%
Sサンプル数S (Twitter、Facebook、Iサンプル数stagram など)	0	0%
その他	1	2%
無回答	2	4%

サンプル数=46

問21 支部活動の参加者の状況はどうか。（あてはまるものすべてに○）

	回答	割合
集まらない（減っている）	5	11%
あまり集まらない（少し減っている）	14	30%
おおむね集まっている（おおむね増えている）	12	26%
集まっている（増えている）	1	2%
決まった人だけが参加している	30	65%
町会員以外の参加者が少ない	9	20%
無回答	2	4%

サンプル数=46

問22 問21で「5. 決まった人だけが参加している」と回答した方のみ、理由についてお答えください。

	回答	割合
会場が狭い	2	7%
人数が多い	1	3%
新しい参加者がいない	28	93%
その他	0	0%
無回答	0	0%

サンプル数=30

問23 貴支部が活動を行う上で大切にしていること（意義、目的）は何ですか。（自由記述）

- ・だれでも参加しやすい活動、雰囲気作り（8）
- ・社会的孤立の減少、地域コミュニティの向上（8）
- ・参加者が楽しみ、コミュニケーションを取ること（6）
- ・町会員及び役員などが活動を行う上で負担にならないような活動を実施すること。

問24 その他、支部活動についての感想、要望等ございましたら記述してください。

- ・元気体操、カラオケ、健康吹矢、グラウンドゴルフ等参加者が同じ人達。回覧しても1人～2人の応募のみ。
- ・活動の担い手をいかにして確保するか悩んでいる。→社協からの後方支援を望みたい。
- ・各種団体（壮年会、婦人会、ことぶき会、こども会）との交流を進めたい。避難所へは行けない人に対して、災害時、自宅で過ごせる近隣の手助け方法を考えたい。
- ・自治会員が少なく、決まった人だけの参加になっている。若い人の参加は無く、参加者が高齢化しつつ、これから先の活動が心配です。
- ・住民の町会や他の団体についてもあまり関心がないので難しい。
- ・町会活動、事業が主になり、社協の支部活動がおろそかになっている。町会でも自主防災会の組織のように社協も町会内で組織があれば活動も活発になるかと思う。
- ・あくまでコロナ禍の現状が第一ポイントだったので問19の他町会交流のイベントができず残念でした。（お誘いを受けていました。）今までの慣例的な行事のコミュニケーションの取り方があてはまらないケースが多く、今後住民の皆様の要望を吸い上げ、新しい企画立案が必要と思います。又若い方との交流を推進してゆく為の企画立案を考えてゆきたいと思います。ご年配の方達のイベントは” さくらパル” の活用が必須です。
- ・支部活動をするというよりは、町会活動が支部活動に準じている。
- ・楽しく。老人会（新生会）の毎週水曜日の柳坪公園の掃除（8時30分より）、ストレッチ体操（医療センター内福祉課）（9時30分から9時45分）、グラウンドゴルフ（9時45分から11時）
- ・当町会の悩みは会員の高齢化、町会会員の減少です。特に若い世帯、集合住宅の方が加入しない。結果として支部活動の参加者も少なくなっている。町会の会員になって支部活動に参加いただける様な活動内容を今後検討する必要があるかと思っています。支部活動を通じて会員増。当町会もリズム体操で補助を受けておりますが、健康体操も今後スタートしたいと考えており、その節はご支援いただきたくお願いします。
- ・少しずつ行事を増やし、若い世代に参加しやすい様にしていた矢先、新型コロナウイルス感染拡大により、すべて中止となり、担い手の方も体をくずしたり、若い人の意識も遠のいたり、厳しい状況となっています。
- ・コロナの影響も大きいですが、地域の親密度の様なものが薄れていく感じがあります。早くに修復しないとイケない様に思っています。
- ・存在意義が理解できていない。この支部と町会活動の違いを自分自身あまり理解していない。